

2013年3月28日(木)

ちよだプラットフォームスクウェア 402 会議室

- ◆ 委員長：中澤信夫 副委員長：久保田悟(議長)
事務：熊谷一樹 室橋紅里子 書記：中山遼平
- ◆ 出席者(順不同)：児玉萬平 平井淳一 上松慮生 小山匠 松本浩司
- ◆ 開会 19:05

- ◆ 大学マッチ
 - ・ 天候・ウインドコンディションにも恵まれ、事故等なく無事終了した。昨年度比較し参加選手の競技レベルも大会を通して向上が見られた。(中澤)
 - ・ 当委員会ではレース期間中 twitter によるレース速報を行った。
 - ・ 大会上位校には種々のキールボートレースへの参加特典を設けた。
 - ・ 当委員会から現地入りしたの運営スタッフには、委員会予算から4千円/泊の宿泊補助を支出した。
 - ・ J-sailing やバルクヘッドマガジンなどのメディア、選手のロコミ等を通じて大会の認知、及び次回大会への期待が高まっている。(平井)
 - ・ ANIORU' S CUP とスケジュールが被ったことや地元枠の活用等は次回のテーマ。(平井)

- ◆ 2013年度活動計画案
下記の事業を骨子として提案、次回の委員会にて審議する。(中澤)
 - ① 中国開催レガッタの案内及び代表チーム選考
 - ・ 現時点では、メイヤーズカップ、ルーシャンカップ、中日韓親善レガッタ、チャイナカップが候補。
 - ・ スケジュールとして、4月にレガッタの案内及び代表チーム募集の開始、6月に代表チームを決定、8月以降各レガッタに代表チームを派遣する。
 - ・ J-sailing 等を通して選考プロセスを告知する。
 - ② インビテーションナルカップ出場チームへの支援
 - ・ 植松 JSAF 副会長のチームが JSAF 代表として出場する。
 - ③ 大学対抗マッチレース開催に向けた協力
 - ・ 実行委員会の立ち上げ、スポンサーの確保、練習会及び大会の開催への協力を行う。
 - ④ キールボートシリーズ相模湾 2013 の開催協力
 - ・ 現在、未定。協力者及び協力団体を募りながら、早期に開催の有無を決定する。
 - ⑤ キールボートパーク構想の実現に向けた活動
 - ・ 既存のレガッタ等と日程を合わせ、フォーラムの開催を検討する。

- ・ フォーラムでは、キールボートパークの内容やメリットを説明，議論する場を設ける。

⑥ キールボートワンデザインクラスとの連携

- ・ メルジェスクラスや J/24 クラス等の世界選手権開催への協力，支援を行う。
- ・ 11月に西宮で開催される Japan Melges Week 2013 への協力，支援を行う。

◆ その他報告事項

- ・ セーラーズ保険(任意保険)，及び JSAF メンバー保険(会員は自動的に加入済み)の案内。
- ・ 理事会にて，JSAF 会員数や理事メンバーの確認，財政の好況化に向けた検討等を行った。
(児玉)
- ・ 外洋総務委員会では，イリジウム携帯の有用性について報告があった。(児玉)
- ・ 現在，当委員会のメンバー登録者は 20 名。
- ・ 委員会の開催日程を主要メンバーが出席できるように調整する。

◆ 閉会 21:00

- ◆ 次回委員会の開催日：未定。決定次第，web 公開及びメール配信します。